YUKINOSATO TSU-SIN

雪の里通信



雪の里情報館

〒996-0086 新庄市石川町 4 番 15 号 ter 0233-22-7891 開館時間 9:00~17:00 休館日 每週月曜日

***令和 5 年度もよろしくお願いします!

人に、まちに、学び場を。日々に豊かさを。

館長 佐藤寛稔

<mark>皆さんご存知のように、</mark>雪調は疲弊した農村経済を立て直し、雪国の生活を豊かにするため、種々の研究・取組みを行 <mark>ってきま</mark>した。それが克雪、住環境の改善、副業による収入増へとつながり、その業績は高く評価されています。

今の時代に生きる私たちが豊かさとは何だろうと考えるとき、経済的な軸、時間的な軸、環境的な軸など雪調が取組ん <mark>できたものと変わらないものがあり</mark>ますが、それだけではないような気がします。 高度情報化社会にあってネットで世界中が <mark>つ</mark>ながり、瞬時にして様々なことを調べ知ることができます。 さらには Al の進化も著しく、最近話題のチャット GPT が急速に 普及しており、文章や論文を作成したり、課題解決の方法を提示したりとネット上のデータをもとに人間以上の完成度の高 い仕事が期待できると聞きます。危険性も指摘されていますが、ある意味で私たちの生活を豊かにしてく<mark>れる</mark>ものと考える こともできます。しかし、 助け合いを基本としてきた農村社会にあった豊かさや人とのつな<mark>がりの中で満たされる心の</mark>豊か さ、学びからもたらされる新たな発見や協働による問題解決と新たな創造の喜び、こういうものはネットや Al からは決して得 ることはできません。今に生きる私たちだからこそ、人間としての真の豊かさとは何かを考え続けていきたいと思います。

「人に、まちに、学び場を。日々に豊かさを。」

職員一同、これを合言葉に学び場を提供し、皆様の日々の豊かさを願って頑張ってまいります。今年度もどうぞよろしく お願いします。

令和 5 年度の主要事業紹介

まもなくスタ 新庄の水辺探訪

新庄の湧き水や田んぼの水はどこからくるのか? 雪解け水の行方を探る。新庄の水辺めぐり。

日時 5/20(土) 8:45~12:30

雪調映像資料から考える新庄

雪調の資料は冊子だけじゃない。約60本ある映像 資料の中から映像を見て新庄を考える。

日時 6/2金 8/4金 10/6金 12/1金 18:30~20:30

今和次郎の世界と雪調の時代

建築学者であり「考現学」第一人者である今和次郎 の世界観を探り、新庄や雪調との関わりと功績に ついて学ぶ。

日時 6/18(日)、8/20(日)、9/24(日) 13:30~15:00

小学生 対象事業

夏のゆきんこクラブ 8/4(金) 冬のゆきんこクラブ 1/20(土)

雪ん子俳句展

雪をテーマにした俳句展示 作品募集1月

オーガニックマルシェ

農薬・化学肥料不使用の農 産物や加工品の販売など 日時 7/30(日)、10/29(日)

雪調が取組んだ手仕事体験

わら細工のワークショップ 12 月開催予定

子どもも大人も どうぞ

雪の里まつり

各団体発表会、雪中宝探し

ワークショップ 年数回開催予定

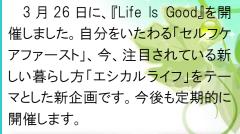
イベントのお問い合わせ・お申し込みは 雪の里情報館(☎0233-22-7891)まで お気軽にどうぞ

★ ※ 令和 4 年度 冬~春のイベント ※ ★















Life Is Good エシカルライフとは・・・ 人も環境も社会も無理がなく、 誰も犠牲を払うこともない、みんなが 幸せになる方向を目指す暮らしかた。

コロナ禍の影響で縮小して行ってきた雪の里まつりですが、今回は発表会や宝探し、ワークショップ等々…、3年ぶりにコロナ前の規模で開催しました!初の試みとして前夜祭も行い、とても盛り上がりました!やっぱり子どもたちや、たくさんの方に来館していただくのは嬉しいですね♪



雪のこえを聴く -雪とくらしと私たちー 令和4年10月27日(木) ~令和4年11月30日(水) 連携:防災科学技術研究所



探究学習・課題研究等の 成果発表展示会

令和 4 年 12 月 14 日(水) ~令和 5 年 1 月 29 日(日)

連携:市内高等学校



『環境・ゴミ問題 絵画コンクール』 令和4年12月7日(水)

~令和 4 年 12 月 23 日(金)

連携:明倫学園







今年度もおたのしみに!

* *

雪国ギャラリー展示



市内赤坂に工房を構える渡部市太郎氏が丹精込めて作り上げた漆工芸品約60点を展示しています。竹や木を加工するところから、さまざまな技法で漆を塗り、仕上げるまでのすべての工程を一人で行っているそうです。 高価なイメージが強い漆器ですが、漆は英語で「Japan」とも呼ばれるほど、かつての日本のくらしと深く結びついていたものです。 丁寧で温かみのある作品をぜひご覧ください。 漆工芸展は5月28日(日)まで開催です。





R5 年前期 展示予告

≪ギャラリー展示≫

- *雪のフォトコンテスト 6月~7月
- *新庄まつり関連展示8月~9月

≪記念館特別展示≫

*戸塚喜八思い出写真展 5/10~5/17